

登録番号

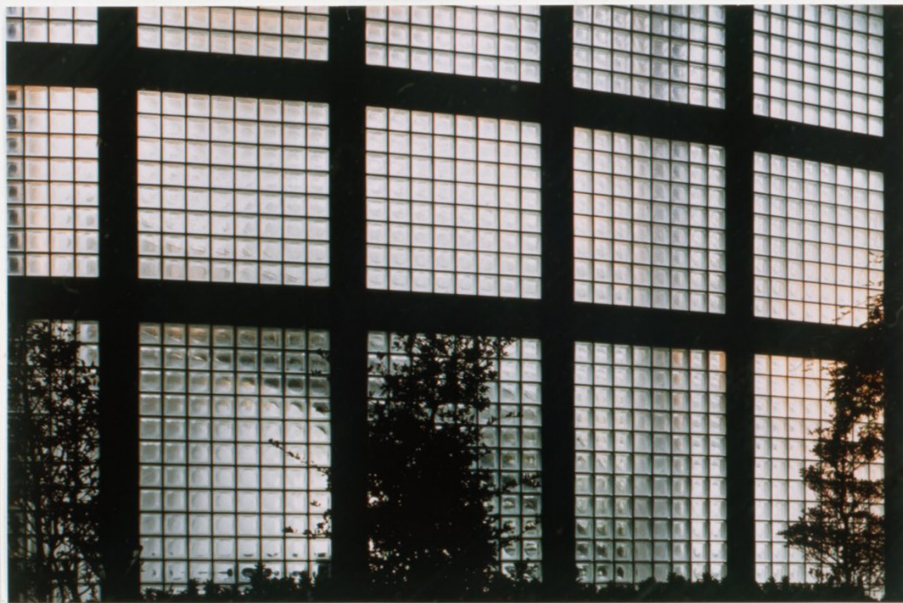
20674

作品名

関西電力(株)三木営業所



枠内に写真貼付して下さい。



コンセプト

三木市は昔から金物の町として有名で、現在でも全国の50%のシェアを誇っています。現在は田畑も残る地域ですが、将来の街並を想定し、積極的に街並づくりに参加し、リードしていく先進性が求められました。この営業所は地域サービスの拠点であり、地域に密着した営業所として、また情報発信基地としての機能を素直に表現しました。金物の光沢とシャープさを電気のイメージとオーバーラップさせ、鎌の刃や鋸の歯の形がアーチ式ダムや稲妻を連想させることから、それらをキーワードとしてデザインを展開しました。

建物の構成は、ラスタータイル張りのマッシブな3層の事務スペースの前に、2層の透過性のスクリーンを立てロビーの吹抜空間を包んでいます。ロビーは障子効果の柔らかな光に満ち、オープンな階段と共に、2階の料理教室へ導入をスムーズにしています。

スクリーンは、1900ミリグリッドのH型鋼フレームに、熱負荷とメンテナンスを考慮して、全面にガラスブロックがはめこまれています。事務ゾーンと対比させるため、弓形の曲面壁として自立しており、情報を発信する形態を表しています。

ガラスブロックは、ブラウン管のイメージを出すために、コロナ及びコロナマットを採用しました。コロナマットは、スクリーン上部に逆三角形に配置して、H型鋼の陰影と共に曲面壁に表情を与えています。また内部においては障子効果を高め、風景を雁行形に切り取ることで着目されています。

